

「基本方針2016(案)」Ⅲ. 1. ①TPPを活用し地方と世界をつなぐローカル・ブランディング

TPPの下で、日本(地方)の農水産物が世界を相手に闘うには
JAPAN BRAND=高コストを上回る高品質(生産工程での環境配慮・安全・安心・美味)

品質の可視化:先ずは、グローバル(国内ではなく)品質管理認証への対応
FSSC22000,ISO22000(HACCP食品衛生管理認証のグローバル版)、グローバルGAP(農業生産工程管理認証)、MSC漁業認証等

BUT

日本(地方)の対応は、遅れている(次ページ記事参照)
地方生産者のグローバル品質管理認証への対応、認証取得を支援する
人材の育成が急務

帯広畜産大学乳製品工場はFSSC22000を取得:学生は認証基準に基づくPDCAを実習